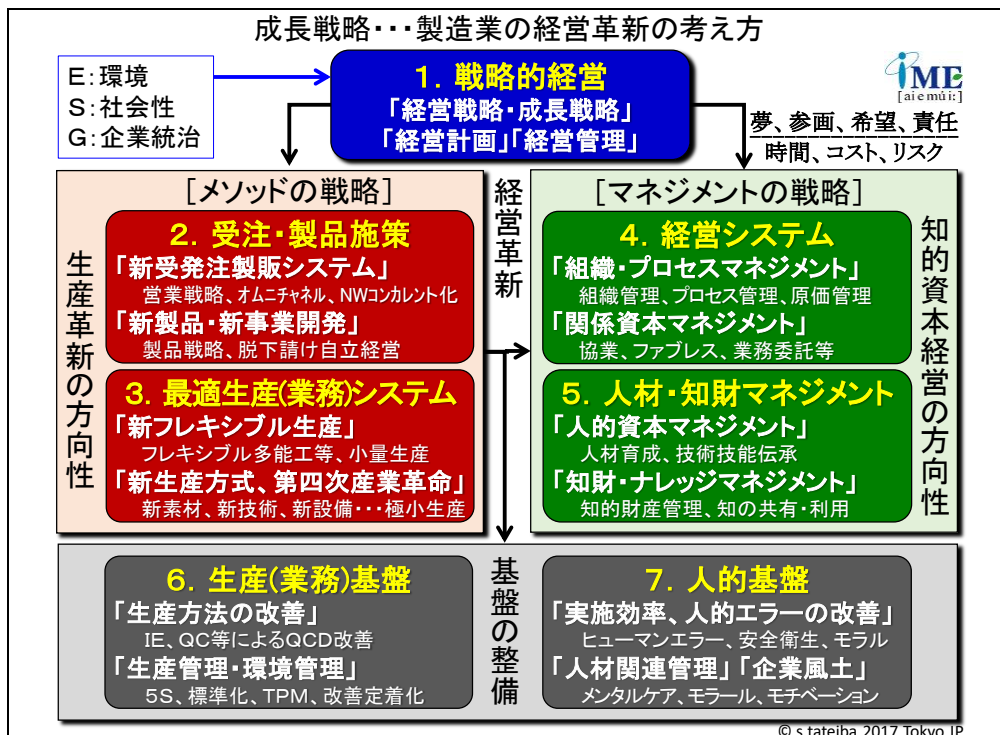


研修テーマのご案内

弊社では、下図の『成長戦略・・・製造業の経営革新の考え方』に基づき、技術を構築しております。コンサル、社内研修、中小企業大学校や日本能率協会等への出講など 25 年の実績を活かし、お会社の経営課題解決、レベルアップ等のお手伝いをいたします。ホームページの「お問合せ」から お気軽にご連絡ください。 [\[ご相談・お問合せ\]](#)



研修一覧

種別	研修テーマ	お勧めする受講対象	研修日数			自社 診断	ゼミ 研修
			1日	2日	3日		
階層別	経営戦略立案	経営層、部長・工場長、後継者	△	○	◎	○	○
	成長戦略の為に 新製品・新事業開発	経営層、管理職、担当者	△	○	◎	—	○
	経営管理の仕組み (組織管理システム)	経営層、部長・工場長、後継者	○	◎	○	○	○
	人材計画・管理と管理人材育成	経営層、部長・工場長、後継者	○	◎	○	—	○
	ヒューマンエラーの対策と予防 (ESG 対応)	経営層、部長・工場長、管理職	○	◎	○	○	○
機能別	人材育成・技術技能伝承	経営層～管理職、教育担当者	○	◎	○	—	—
	製造原価の改善・革新マネジメント	経営層～管理職、原価担当者	—	◎	○	○	○
	問題の発見・解決、管理の基本	工場長～管理職、改善担当者	◎	○	—	—	—
	現場力を向上させるOJT	工場長～管理職、OJT 担当者	◎	○	—	—	—
	利益の為に5SとIE改善	管理職、改善担当者	○	◎	○	—	—
	品質管理の基礎	管理職、品質管理担当者	○	◎	—	—	—
	実務のヒューマンエラー・ポカミス防止	管理職、改善担当者	○	◎	○	○	—

研修の実施要領 : 研修時間は原則として 9:30～16:30 昼休み 1h とし、1クラス max30 名で実施します。
 : ゼミ研修の日数・時間はご相談で設定しますが、1クラス max8 名として実施します。
 : 日程(土日利用可)、実施要領、費用等は、ご相談のうえで決定します。

『経営戦略立案』



■サブテーマ ケースで体系的に学ぶ 経営戦略の考え方、作り方、コツ
～ 成長戦略策定への第一歩 ～

■研修の主旨・目的

変化の激しい経済環境の中で、企業が継続的に発展していくためには、経営資源を効果的に活用し、企業の進むべき方向を明示する「経営戦略の立案」が不可欠です。
この研修では、経営戦略に必要な情報収集、ビジョン、経営目標の作り方について学び、ケース分析などを通して戦略を立案するプロセスやポイントを総合的に理解します。

■研修の特長

事実に基づき、手順を踏んで、戦略体系を構築！ 勘は最後のワンピース。

- ・中小企業を取り巻く経営環境と戦略的経営の重要性、企業経営における経営計画の目的、内容を理解し、経営戦略・経営計画の流れ・要領を学んで頂きます。
- ・経営戦略、経営計画の作成ステップと、重要なポイントを理解することができます。
- ・新商品・新サービス開発、技術経営 (MOT) 等の必要性、そのためのアイデア発想の仕方について学ぶことができます。
- ・マーケティング、新商品・新サービス開発、技術伝承等の経営戦略立案・戦略課題対策を考案する為に必要な情報の収集と分析・整理の要領 (SWOT、戦略マップ)、アイデア発想方法などを説明します。
- ・豊富な事例により、実践的な経営戦略策定の流れ、重要ポイント、コツなどを学んで頂きます。
- ・ケーススタディ (演習) を通して、戦略策定を模擬体験することで、より深く理解して頂くことができます。

■研修の内容

期間：3日間

対象：経営者・経営幹部、後継者、部長・工場長

[\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	序. 経営と戦略 ・社会情勢と経営戦略の考え方 ・戦略立案の流れ ・情報収集と分析 ・戦略や対応策の発想方法。 I. 経営戦略目標の設定 ・経営目的・目標の整理 ・全社戦略の方向性選択。	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	II. 経営環境調査 ・内部環境・外部環境調査 (SWOT 作成)。 III. 全社基本戦略立案 ・戦略課題抽出・整理 (SWOT クロス)。 ・戦略マップ作成、基本戦略のまとめ IV. 経営環境詳細調査・検討 財務、マーケット、営業・受注、顧客満足、製品・サービス、業務プロセス、知的資本、リスク、経営・組織管理、管理システム等の詳細調査など	
三日目	9時30分 ～ 16時30分	V. 事業・機能別戦略立案 ・事業・機能戦略目標の設定、戦略課題の明確化 ・戦略策定、アイデア創出、具体化、計画作成 【グループ演習】 ケース企業の経営戦略立案	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 2日間研修、ゼミ研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『成長戦略の為の 新製品・新事業開発(MOT)』

■サブテーマ 成長戦略、下請け体質からの脱却

■研修の主旨・目的

企業が利益を増やすには、売上を増やすか原価を下げる事が必要です。改善などで原価をある程度下げることは可能でしょうが、多品種小量化の逆風があり、さらに受注の価格や数量が下がれば効果は薄くなります。また、既存製品・既存顧客・既存の競争状態のなかで、売上を増やすことは、容易な事ではないと考えられます。

さらに社会変化や技術の進展により現在の製品・サービスが陳腐化するスピードが早くなっています。国内企業は欧州～世界不況、新興国の技術向上などの影響から、受注の確保、雇用の維持などに苦慮する局面が考えられます。そのため、主な受注が下請けによるものであれば、発注元の企業の状況に大きく左右されます。

これらの状況に対応し、売上増や利益確保、成長を実現する手段として新製品・新事業の開発が望まれます。本研修では、自社製品のライフサイクル分析、製品戦略考案等を行い、新製品開発の体制作り、アイデア考案、販売の考え方等について学びます。

売上を増やすには、その分の『新しい収入源』が必要・・・新製品・新事業！

■研修の内容

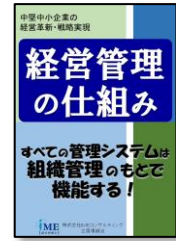
期間：3日間 対象：経営者・経営幹部、部長・工場長、研究・開発・開拓担当者 [\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	新製品開発の考え方 ・今後の社会情勢と将来のために考えるべきこと ・新製品開発とブルーオーシャン戦略 ・成長戦略と新製品・新事業・MOT ・新製品開発のステップ 準備段階： 自社製品・サービスの現状、ライフサイクル等の調査の要領、新製品・サービスの開発体制整備を学びます。 企画段階： ニーズ、シーズ、アイデア、理想追及等からのアプローチで新製品・サービスを考案し、コンセプト、販売の可能性と基本戦略をまとめる。 コンセプトとアイデア創出がポイント。 検討段階： 新製品・サービスのアイデアを実現する為に必要な技術、生産体制、販売体制の考慮、ネーミング、特許調査等、具体化の検討・準備を行なう要領を学びます。 【グループ演習】 ケース企業の新製品開発考案 具体化段階： 販売計画、生産計画を立案し、製造・販売具体化の最終レビューと準備を行う方法を学びます。 管理段階： 新製品・サービスのライフサイクル毎の特徴に応じた管理について学びます。 ・製品ライフサイクルと開発、販売促進の考え方 ・モデルチェンジ、展開等、開発の取組み ・開発と評価の仕組みと人材育成 ・原価と売価(価格)の検討 (コストダウン or 売価変更)	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分		
三日目	9時30分 ～ 16時30分		

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 2日間研修、1日研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『経営管理の仕組み』



■サブテーマ 「管理はできていますか？」

すべての管理システムは、組織管理の下で機能します！

■研修の主旨・目的

企業は、多くの人が役割分担して業務を行っており、経営戦略の実現、経営計画の実行は『組織管理』に基づく縦・横の分業体制が機能している事が必要です。そのため、ISO、生産管理、原価管理などすべての管理システムは組織管理に基づいて構築され、機能するようになっていなければ、あちこちに矛盾が出てしまいます。会社は団体戦を戦っているので社長が「裸の王様」、上司が「笛吹けど踊らず」・・・では、困りものです。本研修では組織管理の基本を学び、有効な管理体制整備に寄与します。

「会社は団体戦！」 会社の利益・存続は、組織で実現する。

■研修の内容

期間：3日間

対象：経営者・経営幹部、後継者、部長・工場長、管理職

[\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	I 経営と組織管理 1. 経営管理の考え方 会社の存在意義、経営管理体制、戦略と組織の陳腐化など経営管理の考え方を理解します。 2. 組織の考え方と役割分担 組織管理の原則、縦横の役割分担等の組織の理解。 3. 管理の基本手順 管理とは何をすることか、管理の基本手順やコミュニケーションなどについて学びます。 【個別演習】自社の組織診断	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	II 経営管理システム構築 1. 経営管理システム 経営管理、事前・事後管理の考え方、管理システムの体系などについて考えます。 2. 部門管理 部門の目標・計画管理、管理指標と効率の考え方、管理システムのルールの設定等について学びます。 3. 実務管理 各課の管理指標と評価システム、実績検討会、第一線監督者による指導・監督の方法等を学びます。 【個別演習】自社の組織診断 III 経営管理のサブシステム 1. 管理活動の基盤 会議、報告・連絡・相談、標準化、見える化と5S等 2. 組織能力向上、人材育成 組織的能力、人材育成、能力開発、ナレッジマネジメント、エンパワーメント等 3. 従業員満足、モチベーション モラル、ルール順守、従業員満足、モチベーション、メンタルヘルス、風土作りについて考えます。 4. 経営システムの見直し 組織の維持・管理、管理と監査、組織体制の再編 【個別演習】自社の組織診断 【グループ演習】ケース企業の組織改善検討	
三日目	9時30分 ～ 16時30分	1. 管理活動の基盤 会議、報告・連絡・相談、標準化、見える化と5S等 2. 組織能力向上、人材育成 組織的能力、人材育成、能力開発、ナレッジマネジメント、エンパワーメント等 3. 従業員満足、モチベーション モラル、ルール順守、従業員満足、モチベーション、メンタルヘルス、風土作りについて考えます。 4. 経営システムの見直し 組織の維持・管理、管理と監査、組織体制の再編 【個別演習】自社の組織診断 【グループ演習】ケース企業の組織改善検討	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 2日間研修、ゼミ研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『ヒューマンエラーの対策と予防』

～ 会社で発生するヒューマンエラーのリスクマネジメント ～



■研修のねらい

ヒューマンエラーは『人為的な過誤や失敗』の事で、ポカミスはその中で原因が人のポカによるものを言います。会社では、ヒューマンエラー、ポカミスにより、労災、事故・災害、さぼり、反抗、改ざん、悪事・犯罪行為、コンプライアンス違反など様々な種類の問題が発生しています。その結果、人命や会社の存続に大きな影響が生じることもあります。

人が業務を行う限り、ヒューマンエラー、ポカミスはゼロにはならないものかもしれませんが、減らすことは可能です。しかし社会動向、人の趣向や受注、生産方法等の変化により、ヒューマンエラー、ポカミスは、放置しておけば増加する事が予測されます。会社を存続させ、人を不幸にしない様にする為には、管理の難しいヒューマンエラーに注意し、失敗が発生しにくい仕組みをつくる事が重要です。

この研修では、業務における失敗要因の捉え方と対策、予防について、事例を交えて学ぶとともに、自社の対策について検討します。

■ポイント

コンプライアンス、ESG(環境・社会・統治)など、ヒューマンエラーへの社会の目は厳しい！

- ◆ヒューマンエラーの本質を理解することで、効果的な対策・予防策のヒントを得られます。
- ◆ヒューマンエラーの考え方や仕組みづくりのポイントを学べます。
- ◆演習を通じて、自社のポカよけの仕組みづくりに取り組むことができます。

■研修の内容

期間：2日間

対象：経営層、部長・工場長、管理職

[\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	1. ヒューマンエラーの捉え方 ・ヒューマンエラー分類と問題点 ・発生のメカニズムとリスク ・発生要因と対策のポイント 2. ヒューマンエラー対策 ・発生時対応（内部・外部対応） ・調査、原因究明、対策考案 ・実施と定着化 【グループ演習】 ケースのエラー対策考案 3. ヒューマンエラーの予防 ・リスクマネジメントによるエラー防止 ・リスクの抽出、アセスメント ・要因追及、対策立案 【グループ演習】 ケースの要因追及、予防処置考案	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	4. 危機管理、BCP ・危機管理、BCPの考え方 ・システム構築と対策立案 5. エラーを発生させない仕組みづくり ・仕組みの考え方 ・人材の育成とケア 【グループ演習】 ケースのエラーを発生させない仕組みづくり演習 【個別(自社)演習】 チェックシートによるミスを発生させない仕組みづくりの検討	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 1日研修、3日間研修、も可能です。お気軽にご相談ください。

※ ヒューマンエラー、ポカミスの予防に関しては、ゼミ研修も可能です。

『人材育成、技術技能伝承』



■サブテーマ 知的資本経営への企業体質改善、技術経営(MOT)への第一歩

■研修の主旨・目的

社会や技術は常に進化・変化し続けています。そのため企業が存続し続けるためには、社会の変化に対応し続ける事、自社の技術・技能を進化させ続けることが必要と考えられます。

しかし、各企業においては技術の進化どころか、人材の採用と定着率の問題、時間不足、職人の保身、ジェネレーションギャップ、若手の耐性低下など、様々な要因から、ベテランや職人の技術・技能がきちんと伝承することも出来ていない状況が散見されます。

また、人材育成の為の評価や教育訓練の仕組みが十分に機能していない会社があります。

さらに仕組みはあっても人の知識、技能、ノウハウ、勘コソ等の知(ナレッジ)が、個人の頭の中にとどまり、開示・情報共有されていない為に、人材育成、技術技能伝承、技術開発、改善活動等の教育、OJTなどを充分に行うことが出来ない企業も多いようです。

逆に、自社技術をどんどん磨いて世界を相手に戦う会社や、技術の応用・転用で新事業により活路を見出している企業もあります。(MOT)

本研修では、企業が抱える上記の問題を解消し、依存から自立へ、自ら進化し利益を上げるたくましい企業への変貌の第一歩を踏み出す事を狙いとしております。

人材育成には時間がかかる…経営の戦略や計画に基づき、計画的に育成する！

■研修の内容

期間：3日間 対象：経営者・経営幹部、部長・工場長、管理職、人材育成担当者 [[お問合せ](#)]

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	人材育成、技術技能伝承の仕組みの構築 熟練者の知識・技能・ノウハウなどの知的資産を効率的に伝承教育する仕組み作りを学習します。 <ul style="list-style-type: none"> 経営と人材育成の考え方 経営計画から能力要件の設定 人材評価システム構築 教育の効率化と管理システム案の構築 	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	人材育成の実務 <ul style="list-style-type: none"> 各部署の現状調査と標準化 OJT人材育成、OJTの実施 知的情報共有化システム 従業員の知識、ノウハウ、技能等を共有化し有効利用するナレッジマネジメントについて学びます。 <ul style="list-style-type: none"> ナレッジマネジメントについて 準備・実態調査・システム構築計画の作成 マネジメントシステムの構築・運用 	
三日目	9時30分 ～ 16時30分	組織能力の向上 企業体質を改善し組織能力を高める組織体制、人材管理の配慮事項について学習します。 <ul style="list-style-type: none"> 組織と役割分担 従業員満足(定着率の向上) 人材の能力評価とモチベーション 技術を磨き、応用・転用によるMOTを考える 	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 2日間研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『製造原価の改善・革新マネジメント』

■サブテーマ 人・設備・材料のロス改善、効率管理による総合的コストダウンの実践

■研修の目的

製造業の企業のほとんどは、多品種小量化、短納期化、低価格化、材料・燃料の高騰などにより利益をあげづらい環境下にあると考えられます。そのうえ、製品ライフサイクルの短命化により経験曲線による習熟やコストダウンの機会も減少傾向にあるようです。

また、現在の受注状況や競争状態において、売上増が見込める環境の会社は極めて少ないようです。

これらの経営困難な環境に対応するため、出来るだけ早く、有効な原価低減活動(コストダウン対応)を行わなければ、赤字転落の危機が目前に迫っていると言っても過言ではないと考えられます。

本研修では、総合的な原価とロスの仕組みを知り、体系的な原価低減体制を構築する事、有効なコストダウンのポイントを発見し対策を行うことなどについて学びます。

材料費・外注費は本当に適切か？ 人と設備の効率は高いか？ ロスを見つけて改善！

■研修の内容

期間：3日間 対象：経営者・経営幹部、部長・工場長、管理職、原価管理担当者 [お問合せ]

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	I. 原価の構成とマネジメントの考え方 利益と原価の仕組み、その管理方法を学びます。 II. 原価マネジメントシステム構築 原価管理活動を行うための仕組みを構築します。 【個別演習】 自社の原価診断 III. 材料費のコストダウン活動 ・ロス項目と責任分担 ・購買効率管理(購買部門) ・材料効率管理 在庫管理、設計歩留、技術歩留、生産歩留、生産不良などのロスを分析し改善します。	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	IV. 加工費のコストダウン活動 ・ロス項目と責任分担 ・加工費レート(単価)の効率化 ・人と設備の効率管理 管理者責任ロスや作業員責任ロスの改善を考えます。 ・その他経費効率管理 V 品質コストマネジメント 検査費用、不良対応費用、品質教育など品質確保のために使われているコストが、不明確な為にロスが生じていることがあります。特に海外生産部品等の不良分別、代替品手配、現地指導等の品質コストの為に、安価のつもりが実際には高かったケースがみられます。	
三日目	9時30分 ～ 16時30分	VI. 原価革新活動 原価革新の為に、従来方法からの脱却を考えます。 ・過剰仕様や過剰品質の回避 ・設計による生産工数改善 ・材料開発改善、新素材の検討 ・多品種小量対応、生産のフレキシブル化 ・新生産方式の検討	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 2日間研修、ゼミ研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『問題の発見・解決、管理の基本』

■サブテーマ 「管理はできていますか？」

業務における問題の発見・解決の管理活動を学んでいただきます。

■研修の主旨・目的

業務の管理をしていないと、作業が現場任せになり、効率低下、不良発生などが蔓延する可能性が高くなります。また、部品・材料の不足、手違い・勘違い、異品・誤品など、業務を遂行する上で問題が生じるとお客様に迷惑をかけるなどして、取引に支障が出る事があります。

しかし、多くの会社では、現場業務の管理がきちんとできていないとは言えないようです。

本研修では組織管理の基本である問題発見・解決の要領を学び、有効な管理体制整備に寄与します。

■ポイント

「管理とは、何をすること？」・・・現場で生じる問題は、管理活動で具現化を防ぐ！

- ◆「計画通りに仕事が進まない(遅れる)」「材料・道具が足りないことがある」「現場の間違い・勘違いが多い」「・・・これらの問題は、管理の基本ができていないために発生します。
- ◆問題の発見・解決は、具現化する前(事前)に気づいて、対処することが望めます。
- ◆管理職が現場作業などを行ない、本職の問題発見・解決(管理活動)を怠ると、大きな支障が生じます。
- ◆管理職は、問題発見の3つの方法を用いて、管理活動を十分に行うことが望めます。

■研修の内容

期間：2日間

対象：工場長、管理職、第一線監督者(係長)

[\[お問合せ\]](#)

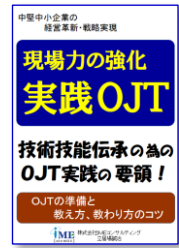
月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	はじめに 管理と役割分担について 1. 管理と役割分担 ・課題と問題 ・管理とは何をすることか ・管理の基本手順 2. 問題発見の方法 ・問題発見の3つの方法 3. 問題解決・管理の要領 ・現象を取り除く処置 ・原因究明・要因追及 ・解決のための対応・改善 ・定着化、管理活動 【グループ演習】 ケース企業の組織管理検討	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	4. 職位別の管理 会社・工場の管理、課の管理、各係の実務管理(第一線監督者の指導・監督)などの問題発見・解決など、管理職による組織管理・効率管理等を学びます。 5. テーマ別管理(業務分掌別) 日常の生産管理、進捗管理、品質管理、人材管理などの問題の発見・解決のポイントを学びます。 6. サブシステム・・・人的基盤の整備 ・標準化、見える化、5S等 ・会議、報告・連絡・相談 ・モラル、ルール順守 ・従業員満足、モラル、モチベーション、風土作り 【グループ演習】 ケース企業の組織管理検討 【個別演習】 自社・自分の振り返り、状況分析	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 1日間研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『現場力を向上させるOJT』

■サブテーマ 現場の人材育成、技術技能伝承教育・OJT実践の要領。
管理職、OJT実務者バージョンの研修です。



■研修の主旨・目的

会社は、人の技術・技能、勘・コツ・ノウハウ、知識等の知(ナレッジ)によって支えられています。そのため今後も存続し続けるには、人材育成、技術技能の伝承が重要です。しかし、標準化・情報共有が不十分、熟練者が教えるコツを知らない等の為にOJTが不十分で、人材育成、技術技能伝承が円滑に行われていない会社が多いようです。本研修は、人材育成、技術技能伝承のためのOJTの問題を解消し、継続企業への第一歩を踏み出す事を狙いとしております。

■ポイント

教え方、教わり方にコツがある。ジェネレーションギャップは一番の問題ではない！

- ◆手順(形式知)などに基づいて行うOJTと、ベテランのノウハウ(暗黙知)を教えるOJTは、やり方・注意点などが異なります。
- ◆教えられる側の事前教育(モチベーション)が必要です。
- ◆OJTは、教えた人のスキルアップも得られます。
- ◆力量だけでなく実効性も評価することが望まれます。

■研修の内容

期間：2日間 対象：工場長、管理職、人材育成担当者、第一線監督者(係長) [お問合せ]

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	はじめに 社会の動向と人材育成の重要性 1. OJTの考え方 組織体制、人材管理の配慮事項、従業員の知識、ノウハウ、技能等の共有化と有効利用について学びます。 2. OJTの評価 ・評価項目(力量と実効性) ・評価の仕組み 3. OJTの4M資源 ・人、設備、材料、方法(教材・手順書)の準備 【グループ演習】ケース企業のOJT検討	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	4. OJTの取り組み方 ・自社のOJTポイントの把握 ・OJTルールを理解、風土づくり ・OJTを行う人材の養成 ・受講者の事前教育(モチベーション) 5. 力量OJTの実務 ・手順のOJT ・ノウハウのOJT ・OJTと自己研鑽 6. 実効性OJTの実務 ・第一線監督者の指導監督 ・実施効率の管理 【個別演習】自社の状況分析、問題点抽出	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 1日間研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『利益のための5SとIE改善』

■サブテーマ 現場のロスを減らします。改善手法習得と定着化によりコストダウンの実現！

■研修の主旨・目的

会社が一定の売上げで利益をあげるには、適切なレベルまで材料費・労務費・経費のロスを改善し、原価を下げる必要があります。その為には、何がどこにいくつあるのか わからない様では困ります。また、仮置き・一時置きのムダ、工程や動作のロスなどを適切に見極め、改善しなければなりません。本研修ではムダ、ロスなどを体系的に改善する5SとIEの手法を身に着けて、より効率的な生産活動の実現を目指します。

■研修の特長

「材料1片 10円」、「作業1秒1円」…ムダ・ロスの改善！

- 「ムダ、ロスの排除」 5S、IEの分析・改善技法の習得により製造方法を改善しムダ、ロスを省きます。
- 「効率化と定着化」 実施効率管理の手法を修得することにより、効率化と定着化を図ります。
- 「管理のコツ」 改善、定着化、管理のコツを身に着けることができます。
- 「事例と演習」 豊富な事例やビデオケーススタディなどで理解と発想を高めます。

■研修の内容

期間：2日間

対象：管理職、第一線監督者(係長)、改善担当者

[\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	生産総論 I 5S活動の進め方 1. 5Sの考え方 2. 5Sの実施要領 II IE改善技法 実践・習得 (生産方法のロスを見つける) 1. IEの考え方 2. 稼働分析 (稼働分析演習) 3. 時間研究 【グループ演習】時間研究～改善考案演習 4. 運搬・マテハン作業の分析 (運搬分析演習) 5. 段取り作業の分析 (段取分析演習) 6. 編成分析 (編成効率分析演習) 7. 連合作業分析 (連合作業分析演習) 8. 工程分析 (工程分析演習) 9. 動作分析 (動作分析演習) 10. 改善活動の進め方	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	III改善考案と定着化 1. 原因究明と改善考案 2. 実施と標準化、作業指導 【グループ演習】ビデオケースの現場改善演習 IV実施効率管理・改善 (実施効率のロスを見つける) 1. 評価システム構築 2. 実施効率の管理 3. まとめ (自社の実施効率チェック)	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 1日間研修、3日研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『品質管理の基礎』：顧客満足と利益の為の QC 活動

■サブテーマ QCの考え方、手法の習得と定着化により、品質向上、不良低減の実現！

■研修の主旨・目的

会社は顧客満足の対価として収入を得ています。そのため顧客要求事項を満たす品質は必須となります。しかし過剰品質は、コストをかけた割には顧客満足とは関連しない場合があります。顧客満足を得ながら利益をあげるには、顧客要求事項の理解と、適切な実践・管理が重要なポイントになります。

本研修では、会社の売上、利益と、お客様の満足を両立させるために、実務にける顧客満足の理解、品質改善の考案と実行の考え方と方法学びます。

■研修の特長

QCの考え方、手法の本質の理解、QC的センスの醸成による 業務品質の向上

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 「手法の理解」 | QCの分析・改善技法の習得により品質向上、不良低減を図ります。 |
| 「QC的センス」 | 問題発見能力を高め、改善を推進します。 |
| 「定着化」 | 改善、定着化、管理のコツを身に着け、定着化を図ります。 |
| 「事例と演習」 | 豊富な事例と、ケーススタディで理解を高めます。 |

■研修の内容

期間：2日間

対象：管理職、第一線監督者(係長)、品質管理担当者

[\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	1.品質と顧客満足 ・クオリティ、品質と顧客満足 ・顧客要求事項とコストのバランス ・ロス of の考え方と品質活動 2.品質管理の考え方 良い品質の製品をお客様に提供するためのQC活動を実践する際の着目ポイントについて学びます。 ・PDCA: 品質改善活動と管理活動 ・品質は工程で作る。後工程はお客様 ・ねらいの設計品質と出来栄の製造品質・適合品質 ・事実とデータに基づく判断の重要性 ・検査考え方 3.QC手法の理解 (QC7つ道具) 問題点を見つける「QC7つ道具」の習得 0.層別 1.管理図 2.ヒストグラム 3.グラフ 4.パレート図 5.散布図 6.特性要因図 7.チェックシート 【個別演習】 QC手法によるデータ分析演習	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	4.原因究明と改善考察 改善は問題点の原因を取り除く事。原因が残存すれば再発する。原因と改善の学習。 ・現象と原因・要因のとらえ方 ・改善案の考え方 【グループ演習】 QC手法によるデータ整理と改善考察 5.改善の定着化 標準化、ルールを守る事、確認する習慣、QC 的センスの醸成など。	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 1日研修も可能です。お気軽にご相談ください。

『実務のヒューマンエラー、ポカミス対策』

～業務のエラー・ミス対策・予防～



■研修のねらい

実務のヒューマンエラー、ポカミスは、労災や不良発生など、QCDSに大きな影響を与えます。その結果、人命や信用を失なう事態になる事もあります。しかし、なかなか十分な対策ができていないのが現状かもしれません。今後は社会や受注、生産方法等の変化によりヒューマンエラー、ポカミスの増加が予測されるので、適切な対策が望まれます。

人が作業を行う限りヒューマンエラー、ポカミスはゼロにはならないものかもしれませんが、減らすことは可能です。会社を存続させ、人を不幸にしない様にする為には、管理の難しいポカミスなどに注意し、失敗が発生しにくい仕組みをつくることが重要です。

この研修では、業務における失敗要因の捉え方と対策、予防について、事例を交えて学ぶとともに、自社のポカミス対策について検討します。

■ポイント

ポカミスは、「ポカよけ」だけでは 無くならない！

- ◆ポカミスは、ポカよけだけではなくなりません。 ルール・方法、指示・指導、環境の改善も必要です。
- ◆ヒューマンエラー、ポカミスの本質を理解することで、効果的な対策へのヒントを得られます。
- ◆原因究明・要因追及、対策の考え方と仕組みづくりのポイントを学びます。
- ◆演習を通じて、自社の改善の仕組みづくりに取り組むことができます。

■研修の内容

期間：2日間

対象：管理職、第一線監督者(係長)、改善担当者

[\[お問合せ\]](#)

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	1. ヒューマンエラー・ポカミスのとらえ方 ・ヒューマンエラーの考え方 ・ポカミスの分類と問題点 ・ポカミス発生のメカニズム ・発生要因と対策のポイント 2. ヒューマンエラー・ポカミス対策 ・調査・原因究明 ・ポカミスの要因分析と対策検討 ・実施と定着化 【グループ演習】 ポカミス対策シートによる改善演習	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	3. ヒューマンエラー・ポカミスの予防 ・調査・検討の準備 ・エラー調査、原因・要因の追求 ・予防対策の立案と定着化 【グループ演習】 ケースの要因追及、予防処置考案 4. エラーを発生させない仕組みづくり ・仕組みの考え方 ・人材の育成とケア 【個別(自社)演習】 チェックシートによるミスを発生させない仕組みづくりの検討	

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 1日研修、3日間研修も可能です。お気軽にご相談ください。

※ ヒューマンエラー、ポカミスの予防に関しては、ゼミ研修も可能です。

※ 以上の研修案内は、各地の研修機関(団体)様で研修を実施した際に作成、配布された研修パンフレットの記載内容です。

※ 全国各地に出講いたします。

出講した都道府県 北海道、秋田、岩手、宮城、山形、新潟、長野、群馬、栃木、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、富山、石川、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、福岡、佐賀、熊本

※ 最近、ご要望の多いテーマ

研修機関	経営層向け	経営戦略・成長戦略立案、経営管理の仕組み
	管理職向け	新製品開発、技術技能伝承
	監督者、担当者向け	ヒューマンエラー・ポカミス防止、IE手法の理解、原価改善
社内研修	経営層向け	経営戦略立案ゼミナール研修
	工場長、管理職向け	製造原価の改善・革新マネジメント
	監督者、担当者向け	実務のヒューマンエラー・ポカミス防止、(QC)品質管理の基礎

※ 出講の費用等

お問合せをいただき、実施の日数や実施要領等のご相談内容に応じて、お見積りいたします。

[\[お問合せ\]](#)

■会社概要

会社概要	
業務開始	1991年3月1日(日本能率協会を通じて)
創業年月日	1998年8月1日(直接受注開始)
設立年月日	2001年7月3日(株式会社登記)
設立会社名	株式会社 IMEコンサルティング
所在地	東京都大田区蒲田
代表取締役	立居場誠治
資本金	1千万円



日本能率協会会員
東京商工会議所会員
大田ブランド登録会員
蒲田法人会会員
中小企業大学校講師



業務内容

- ・診断
- ・コンサルティング
- ・研修・講演
- ・ツール開発
- ・書籍、文書類
- ・eラーニングシステム開発
- ・研修コンテンツ開発

技術テーマ

- ・経営戦略、成長戦略、経営計画
- ・製品開発・管理
- ・マネジメントシステム構築(経営、組織、原価、ISO)
- ・生産管理、最適生産システム構築
- ・人材育成、技術技能伝承、OJT
- ・現場改善管理(IE、QC、ポカミス)
- ・実施効率管理(工数設備効率、品質コスト)

■講師プロフィール

立居場 誠治(たていば せいじ) (株)IMEコンサルティング 代表取締役

日本大学卒業後、大手建材メーカーで生産管理、コストダウン、品質管理、公害対策、研究開発等を担当。その後、1991年より日本能率協会、1997年よりタナベ経営にて経営コンサルティング、研修等を行い、1998年に独立し、現在に至る。

専門分野は、IE技術を軸とした原価マネジメント、現場改善、ISO9001, 14001, OHSAS18001 の認証取得支援等で、多くの企業の指導、教育研修の実績を持つ。

著書に『技術者のための原価企画』、『理想原価への挑戦』(日本能率協会出版)

『経営戦略立案』、『経営管理の仕組み』、『ヒューマンエラー、ポカミス防止』([コンテンツ出版](#)) などがある。